

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

2023
No.
78
31 Jan.

発行 NPO 法人 日本・パプアニューギニア協会 編集 NPO 法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 発行日 令和5年1月31日



新春の御挨拶

新年明けましておめでとうございます。
皆様のご多幸とご健康を
心よりお祈り申し上げます。

橋(岩崎) 廣治 (当協会会長)



新型コロナウイルスの発生から約三年がたとうと
しています。既に皆様御存知の通りコロナ感染蔓延の
ため日本・パプアニューギニア協会の活動は極めて限
られたものになっていましたが、そろそろ本格的に再
開できればと考えています。

他方、コロナは終息に向かっていくようにも思えま
すが、まだまだ油断できない状況です。世界の、そし
て日本の多くの人たちはコロナは無くならないかも
しれませんが、気を付けつつ社会活動を再開するこ
とにしたのだと思います。これと同様な考え方に立ち協
会の活動も行いたいと思います。周りの状況を見つつ
慎重に行うことが大切です。

この約三年間、日本・パプアニューギニア協会の活
動は全くなかったわけではありません。また、最近で
は協会の奨学生選考の準備も行われていますし、昨年

の十一月にはパプアニューギニアから軍楽隊が来日
し演奏会が行われました。この軍楽隊には様々な協力
を行いました。

具体的な日程はこれからですが、コロナの状況をみ
つつ、TOKTOK 会、アベル大使との懇談会、さら
には PNG への親善旅行も考えたいと思っています。

昨今の国際情勢からも日本・パプアニューギニア
両国関係の発展は極めて重要なものになってきてい
ます。両国の経済面での関係拡大に加えて、社会・文
化のさまざまな分野での交流促進が望まれており、日
本・パプアニューギニア協会もその役割をしっかりと
果たしたいと考えております。

あらためまして皆様のご多幸とご健康を心よりお
祈り申し上げます。

2023年 パプアニューギニアの行事と祝日のリスト

予定日	行事	予定日	行事
2月24日(金)	National Remembrance Day of the Late First Prime Minister Grand Chief Sir Michael Thomas Somare (故マイケル・ソマレ初代首相の国民追悼の日)	6月12日(月)	女王誕生日
		7月24日(月)	National Remembrance Day (戦争追悼式)
		8月26日(土)	National Repentance Day (国民お祈りの日)
4月7日(金)	Good Friday (イースター休暇開始)	9月15日(金)	Independence day (独立記念日)
4月8日(土)	Easter Saturday (イースター休暇)	12月25日(月)	Christmas Day (クリスマス)
4月9日(日)	Easter Sunday (イースター休暇)	12月26日(火)	Boxing Day (ボクシング日)
4月10日(月)	Easter Monday (イースター休暇)		

新年・在外公館長表彰授賞のご挨拶

伊藤 明德（当協会 ポートモレスビー支部長）

ポートモレスビーは雨季で夕方から夜間に激しい雨が降っています。新型コロナの感染者は大幅に減り、商店や銀行・空港でのマスク着用義務がなくなりました。PNG への渡航者も昨年 10 月に新型コロナのワクチン接種や陰性証明書の提示がなくなり、以前と同等の渡航が可能となり旅行者の訪問も活発化しています。

さて、1 月 19 日に大使公邸で新年賀詞交換会が開催されました。その席で、幸運にも私は本協会ポートモレスビー支部長として、邦人民間企業支配人 2 名と一緒に令和 4 年度在外公館長表彰を渡邊信之特命全権大使より頂きました。本表彰は日本と PNG との相互理解及び有効親善に寄与した功績に与えられるものです。

私は、1990 年より継続して 30 年以上にわたりこの PNG で、国際協力機構 JICA の青年海外協力隊員、専門家、プロジェクト総括での教育支援活動の傍ら、2014 年より当協会ポートモレスビー支部長、また 2012 年より NPO アジア太平洋子ども会議 in Fukuoka の PNG 役員として民間・草の根レベルでの日本と PNG との友好親善、架け橋の活動をしてきました。2015 年には、幸運にも PNG 政府より公共サービス功労勲章を受勲しました。そして、今回は渡邊大使より表彰されたことを心より喜び感謝致します。この表彰は、私一人では決して頂くことはできないのもです。活動を支援してくれた、JICA、日本大使館、教育省、プロジェクト、PNG

の皆様のお陰です。特に、当協会前山下会長、橋会長、島田事務局長、理事、そして会員のご協力がありまして、ポートモレスビー支部長の業務を続けることができました。これからも表彰に恥じぬように両国の架け橋のために活動を続けていきたいと思ひます。引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。



在外公館長表彰



伊藤支部長と伊藤夫人、渡邊特命全権大使と大使夫人

自衛隊音楽まつり

中村 彰（当協会 事務局次長）

令和 4 年 11 月 18 日武道館で開催された自衛隊音楽まつりに参加させて頂きました。

当日は雲一つないさわやかな秋晴れの中、PNG 国防軍に演奏服を寄贈された当協会会員の田中富久子様および故堀江正夫名誉顧問のご長男高橋正純様、そして PNG 軍楽隊開設時にいち早く中古楽器をご寄贈いただきました当協会の法人会員であります仙台育英学園より尾形国際部長と共に協会から橋会長をはじめとする協会役員の皆様と武道館正門時計台の下で合流、防衛庁担当官の付き添いにより開場の日本武道館へと入館致しました。

今回は陸海空自衛隊音楽隊、陸上自衛隊東部方面音楽隊 / 東部方面らっぱ隊、航空自衛隊航空中央音楽隊、陸上自衛隊中央音楽隊 / 第 302 保安警務中隊、海上自衛隊東京本楽隊、自衛太鼓、演技支援隊の他に、パキスタン陸軍軍楽隊、パプアニューギニア国防軍軍楽隊、在日米陸軍軍楽隊、米国海兵隊第 3 海兵起動展開部隊音楽隊、の各国軍楽隊が出演されそれぞれに迫力のある素晴らしい演奏を披露して頂きました。

特にパプアニューギニアからの国防軍軍楽隊は防衛省、自衛隊、JICA、当協会の協力のもとに誕生した軍楽隊で、今回は特別に日本への招待が実現しました。

入館するとそのままパプアニューギニア国防軍軍楽隊が待つ部屋に案内されました。

そこには既に真っ赤な演奏用の制服（赤、黄、黒）に身を包んだ総勢 35 名の軍楽隊メンバーが整列して待機していました。

この制服は田中富久子様、故堀江正夫様が特別に軍楽隊へ寄贈されたものなのです。

パプアニューギニア国防軍司令部のラオリ中佐とイアンバ軍楽隊長から制服の寄贈及び自衛隊音楽まつりへの招待に対して繰り返し繰り返し感謝の言葉が述べられました。

田中富久子様、高橋正純様、山下名誉顧問、橋会長からそれぞれお返しの挨拶がございました。

18:00 前に満席の会場に移動し 19:30 まで演奏を堪能いたしました。

パプアニューギニア軍楽隊は第二章の陸上自衛隊中央音楽隊 / 第 302 保安警務中隊の後に登壇しました。真っ赤な軍服を着て一条乱れぬ行進と見事な演奏で「行進曲ポートモレスビー」、「ふるさと」、「上を向いて歩こう」、の 3 曲を披露しました。

その出来栄は兎に角すばらしく、舞台上に人文字でハートマークが描かれた瞬間には観客から一斉に割れんばかりの大拍手が沸き起こりました。それは感動的瞬間で自分でも目頭が熱くなるのを感じた次第です。本当に素晴らしかったです。

公演終了後に控室に移動し、陸上自衛隊幕僚長 吉田圭秀様と懇談する機会が有りました。

幕僚長から自衛隊音楽隊とパプアニューギニア国防軍軍楽隊との交流は日パ協会の仲介が有って初めて実現したもので、この様な素晴らしい交流に成るとは思っても居なかった事が語られ、「本当に感謝しております」とのお言葉を頂きました。非常に印象的でした。

この後 20:10 から演奏服の寄贈をされた田中富久子様へ自衛隊からの感謝状贈呈式が執り行われ、パプアニューギニア国防軍軍楽隊、自衛隊関係者を含めて記念撮影を行いました。心に残るすばらしい一日となりました。



PNG 軍楽隊と陸自中央音楽隊員



ハートを描きながらの演奏



正面から



出演者代表の整列

在 PNG 日本大使館より アルバニー・ジュー豪首相のウエワク日本人慰霊碑訪問

渡邊 信之（駐 PNG 日本大使）

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひいたします。

新年が明けて早々の1月第2週にアルバニー・ジュー豪首相がPNGを訪問しました。訪問中には外国人首脳として初めてPNG国会で演説したほか、訪問最終日の1月13日には東セピック州のウエワクを訪問し、日本人慰霊碑への参拝を実施しました。私も昨年4月以来2度目の訪問として豪首相に同行し、献花と黙祷を捧げて参りました。

ウエワクは先の大戦の東ニューギニア戦線での最大の激戦地でした。厚生労働省の資料によれば、4万多名余が命を落とされ、今日までに収容されたご遺骨は約1万1千柱となっており、未だに多くのご遺骨が彼の地に眠っておられます。

ウエワクには我が国が建立した慰霊碑として「ニューギニア戦没者の碑」があります。その他にも、激戦地であった東セピック州には20の民間慰霊碑が建立されております。

今般、アルバニー・ジュー豪首相はウエワク訪問中にウエワク市内ミッション・ヒルに所在する慰霊碑を訪問しました。同記念碑は2014年に安倍元総理も訪れて

います。ミッション・ヒルは1943年から1945年まで旧日本軍のニューギニア島最大の航空基地司令部が置かれていた場所であり、眼下に太平洋を望むこの美しい丘の上に民間慰霊碑が建立されています。当日はPNGからトカチェンコ外務大臣、バード東セピック州知事等も出席して厳かに慰霊式典が執り行われました。

日本軍のニューギニア戦線上陸から80年を迎える本年、世界と地域の平和と安寧を願ってやまないPNG・豪・日の緊密な関係を象徴するイベントに立ち会えて感無量の思いでした。ミッション・ヒルの慰霊式典会場の様子



アルバニー・ジュー豪首相らと整列



慰霊碑へ献花・黙祷を捧げる

駐日 PNG 大使館情報

2023年スタート新年祝賀の儀

荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）



新年明けましておめでとうございます。

本年も引き続きパプアニューギニア大使館を宜しくお願ひ致します。

COVID-19の様々な規制も昨今はかなり緩和され、宮内庁や、

外交団のいろいろなイベントも、2022年後半あたりからかなり復活してきました。しかしながら、今回の新年祝賀の儀も昨年引き続き、大使お一人での出席になりました。一般市民の一般参賀も今年は抽選ではありますが、数年ぶりに開催され、また成人された愛子様も初のお出ましとなり、様々な場面で世の中が活

気づいてきました。

さて今年はアジア婦人会（ALFS）のバザーも2019年以来、4年ぶりに開催されることが決定致しました。日程は5月10日の水曜日に明治記念館にて開催されます。

また追って詳細はお知らせ致しますが、多くの皆様のご参加をお待ち致しております。

まだまだ寒い時期が続きますが、皆様どうぞご自愛くださいませ。



日本・パプアニューギニア協会 法人会員紹介

第63回 「みなさん、こんにちは」

協和海運株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋1丁目1-1 日比谷ビルディング4階
<https://www.kyowa-line.co.jp/>

私ども協和海運は半世紀に亘り南太平洋諸国に定期配船をしてきました。そのエリアは東西1万キロ、南北8千キロに及びます。東はタヒチ、西はタイ、南はオーストラリア、ニュージーランド。就中、中南部太平洋、ミクロネシアはライフラインの維持としてその責務の重要性を認識し、当該諸国と一体となって仮に物量が少ない場合でも配船を継続してきました。輸出資源のある国ない国、港湾施設が整備されている港されていない港、それらの条件を勘案し使用船腹は多目的船を投入しています。片貿易を多少なりとも是正できればと当該国からの輸出品の創出を常に検討をしています。当会員の方で妙案がありましたら是非ご連絡をいただき一緒に実現していきたいと思っています。

当社の創成期から暫くは、往航では鯖の缶詰、セメント等が主で、復航ではコプラ、原木がパプアニューギニア航路の主要貨物でした。それが、時代の変遷とともに往航では車両、

ジャンボタイヤに、復興では大型船による天然ガスの輸送等に代わってきました。パプアニューギニアは埋蔵されている地下資源が開発されると数年で一人当たりのGDPでは世界の1～2位になるとみられています。島嶼国の全人口の2倍がニュージーランド、其のニュージーランドの2倍がパプアニューギニア、その大きな潜在力にどのように対処していくかが当社の課題ですが今後とも各国に溶け込んだライフラインとしてその責務を果たしていく方針です。



KYOWA ROSE号 進水式

南太平洋諸国における主な航路

パプアニューギニア航路

定期寄港地：Lae, Rabaul, Port Moresby, (Madang, Lihir)
*横浜/Lae間、8日

配船数：年間18航海
船型：12,000トン型多目的船、3隻による配船

ミクロネシア航路

定期寄港地：Saipan, Guam, Yap, Palau, Chuku, Pohnpei, Kosrae, Majuro, Ebeye, Kwajelin

配船数：年間26航海
船型：12,000トン型多目的船、3隻

南太平洋航路

定期寄港地：Tarawa, Solomon, Fiji, Vanuatsu, New-Caledonia, Samoa, Tonga, Pago Pago, Tahiti

配船数：年間26航海
船型：18,000トン型多目的船、4隻
24,000トン型コンテナ船、3隻



KYOWA ORCHID号



KYOWA ROSE号



ソマレ前首相（国賓）との弊社主催昼食会

事務局からのお知らせ

令和5年の新年号をお届けいたしました。橋会長のご挨拶にもありますとおり、本年より協会の行事はコロナ前の活動に戻していく予定です。皆様の御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。今号では、自衛隊音楽祭りの中村事務局次長

のレポートがございます。自衛隊音楽祭りは文中にもありますが、当協会の田中様、故堀江様と協会が大きく貢献することが出来ました。このような活動へこれからも積極的にかかわっていきたくと考えております。

レポートの通り伊藤ポートモレスビー協会支部長へ渡邊大使からの在外公館長表彰が送られました。伊藤支部長おめで

たございます。協会としても誇らしく思います。また上岡秀雄様、富田辰朗様に同様に長年の功績に対して在外公館表彰が行われております。皆さん本当におめでとうございませう。ALL Japanでますます日本の存在感をPNGで出せたらよいと思います。寒さもこれからです。皆様ご自愛いただき、春にごくらくちようでまたお会いしたいと存じます。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：23社 ◆ 個人会員：109名 (2023年1月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-12 社会保険労務士会館9階 日本ビジネスライン株式会社内
TEL:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556 E-mail:info@jpng.or.jp URL:http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員6,000円 家族会員3,000円 法人会員60,000円 学生、PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ)ニホン パプアニューギニアキョウカイ